

介護保険を巡る動き

～これまでとこれからを考える～

今年2月25日再開された社会保障審議会介護保険部会は、第8期介護保険事業計画時に反映できるよう今年度末の通常国会への法案提出を目指して審議が進められています。

要介護1・2の総合支援事業化や利用料の2割負担など、給付と負担の見直しが政府の「新経済・財政再生計画と改革工程表2018」のスケジュールを反映したものとなっています。

要支援1・2が新総合支援事業に移行しての全国的な状況は？ 混合介護の特区での実施状況は？ 外国人労働の介護分野への拡大の影響は？ 介護保険を持続可能なものにするにはどうすればいいのか？ 本当に持続可能なものとなるのか？ などなど多くの疑問がわいてきます。その疑問を率直に話し合ひましょう。

介護問題研究会の公開例会として下記のとおり開催いたしますので、ご参加ください。

◆問題提起：結城康博さん（淑徳大学社会福祉学部教授）

◆6月23日(日)10時～12時

◆ドーンセンター 4階 中会議室②

◆参加費は無料

◆申込書

お名前		ふりがな ()	
電話	fax	()	()
携帯電話		()	()
e-mail			
所属・お仕事			

事務局 TEL/FAX：06-6762-0550 e-mail：wabas-osaka@mbm.nifty.com

※ 定員(32名)満了でご参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします